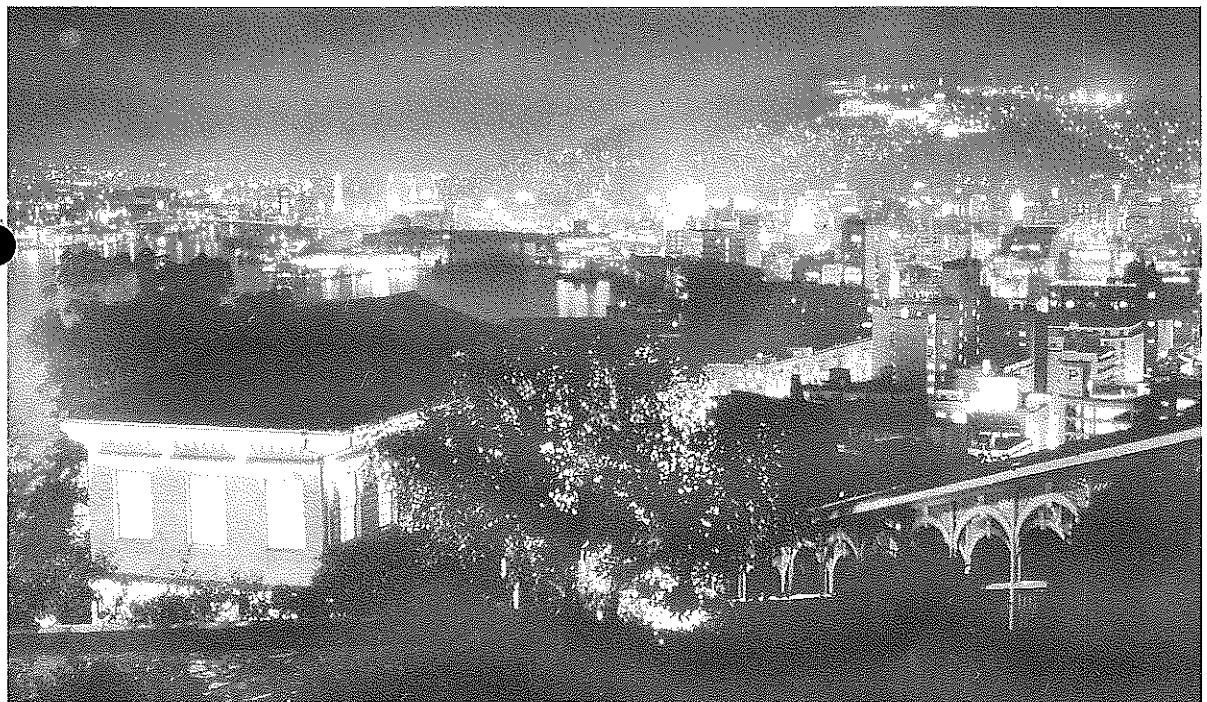


# NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

共に夢を語り合い自信を持って行動しよう。

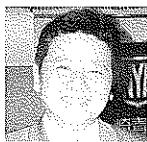
## 30<sup>th.</sup> ANNIVERSARY



社団法人  
**長崎青年協会**

発行●(社)長崎青年協会 長崎市五島町2-14 長崎印刷ビル3階 会長 和田正信 編集●広報委員会 広報委員長 野島徹也

## 平成10年度 役員・理事者の抱負



会長 和田 正信

今年度は、青年協会創立30周年という大事な一年となります。基礎を築いて下さった協会OBの皆様。又、今から発展させて行く現会員及び未来の会員の皆様の為にも、私自身、精一杯努力し、一年間を通して自分のカラーを出せるように精進してまいります。

協会員同志が協会の夢や自分の夢について熱く語り合い、そして、自信・責任・勇気・思いやりを持って行動していく事を目指して今年度のスローガンを「共に夢を語り合い、自信を持って行動しよう！」とさせていただきました。一年間何かといそがしい年になると思いますが、皆様の御協力の程、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



副会長 吉田 正幸

30周年の記念の年、和田会長の下、副会長という立場に身の引き締まる気持ちです。本年は30周年という節目の年であり、これから新たな協会の道へのスタートでもあると思います。先輩OBの皆様が築かれてきた長崎青年協会を今一度個々それぞれが考え、行動し、現役会員全員で協会活動への気持ちをひとつに築ける年にみんなでがんばりましょう。人の為でなく、自分の為に、そして、自分だけの為でなく、みんなの為に、がんばろう！



副会長 西崎 達也

いよいよ、本年度も和田会長の下スタートしました。本年度は、副会長という大役を拝命し、少々戸惑っていますが、今まで協会の中で自分なりに培ってきた「一生懸命」という言葉を胸に、和田会長の補佐役として、吉田副会長と共に、頑張りたいと思います。また、新理事及び会員の皆様方には、今年度一年間御協力を賜る事も多々あるかと思いますが、宜しくお願ひ致します。



総務室長 石田 則広

♪仰げば尊し我が師の想い……世はまさに卒業式シーズンである。(この広報誌が届く頃は入学式シーズンであろうか。)

天を仰いでみたら思い出す事は貴重な教えをして下さった先生のお気持ちはいくばくかといったところか。

私は言わすれば、♪動けば尊しである。

とにかく動いてみる事である。動けば、見えない物が見え、聞こえない事が聞こえ、触れない物にも触れる事が出来る。

机上で空論を重ねる事が青年協会ではないと思う。本年度、私は総務室長をオオセつかつたわけだが、動ける、体で表わせる総務室をつくっていけたらと思う。



会員室長 荒内 賢治

本年度は30周年を迎える、その節目の年に会員室長という重責を受けさせて頂く事になりました。また私にとっては今年度最後の年となりますので、人生の中においても悔いのない一年にしたいと思っています。そのためには、原点にもどって自分が8年前入会した時の頃を思いおこし、先輩方に教えられたこと、先輩方へ望んだこと、また青年協会のすばらしさ、喜びなどをこの一年を通して、後輩たちへ伝えて行けるよう精一杯動いていきたいと思います。



事業室長 西口 勝治

30周年にむけ、事業室一同、ボランティア精神にのっとり、精々、堂々と事業を遂行する事を誓います。ファイト一発!! 皆がんばるぞ。



企画室長 地島 秀

本年度30周年の節目に和田会長の下、企画室長をさせて頂く事になりました。まだ私修業中の身で知らない事が数多くありますが、わからない事は、諸先輩に聞きながら、私なりに協会活動に参加し、学んで行きたいと思います。

まず協会の基本である「委員会」企画室の渉外、企画委員会のメンバーの一人として本音で語ろうを基本に委員会に参加し、結果はどうあれ、一人でも多くの会員の皆様が納得出来る事業

が出来ればいいなと思います。企画室委員会30周年を理解し積極的に事業を計画しています。どうぞ皆様事業への参加よろしく御願いします。

最後に「待つとけん」皆様参加！リターンズ



### 30周年担当理事 田川俊幸

若い力と情熱をもって地域の発展に貢献しようと立ち上がった青年協会も、多くの先輩方の流した汗の数だけ、たくさんの感動ある事業を創出し続け、今年度30周年を迎えるました。「この節目に相応わしい事業を考えよう。」と、和田会長より起用され、重責の任に就かせていただきましたが、現会員の皆様はもちろん、OBの方々のお力添えが無ければ推進できない「みんなの30周年」ですのでご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。



### 直前会長 川原哲也

みなさまこんにちは！本年度直前会長として役を与えられました。本来であれば卒業をしている年令ではありますが、もう一年がんばれということですので精一杯頑張りたいと思います。

協会は本年30周年を迎える、和田会長のもと、色々な事業が目白押しです。私は会長を経験した者として会長が目が届かない部分や言えない部分に気を配り補佐できればいいなと考えています。結果として皆さん方会員が団結して素晴らしい一年になる様頑張りますのでよろしくお願ひ申し上げます。



### 監事 岩満克弥

設立30周年の本年度は、例年なく活発な協会活動が行なわれると思います。その中でOBの皆様にも多大なご協力をいただく事になろうかと思いますが、現役とOBのパイプ役の1人として活動できればと考えます。

又、協会内部においては、客観的に協会を見て、自分が協会において学び、経験した事を微力ながら役に立たせる事ができるよう努力致します。



### 監事 下釜一彦

大蔵省・日銀の監査や検査の癒着が世を騒がせている。また、かねてから民法法人の監査の強化もいわれている。事業そのものが透明性のあるのと、財務会計が透明度向上させるのは、その目的を異にするから、監査を司るうえは、監査体制強化のために監査吏員を二人つけて欲しい。細かい作業が伴うと思われる所以女性が望ましい。もちろんボランティアである。ボランティアだが、民法法人の監査実務を経験できるし、ためになります。会員の皆様誰かご推薦下さい。



### 事務局長 城谷富好

(前)長崎青年協会、30周年という大事な節目の年の事務局長として理事会等の会議の円滑な議事進行、議録作成と、新事務局の厳格な管理活用を推進したいと思います。

和田会長のもと、微力ですが、「『玉石混淆(ぎょくせきこんこう)(?)』キャラクターを生かして》全力を尽くす所存ですので、皆様の御協力、御指導をお願い申し上げます。



### 総務例会委員長 峰章二

30周年という記念すべき年度に理事者として協会活動に携われるということを光栄に感じております。私も31歳になり過去も未来も少しは冷静に考える事が出来る様になり今回2度目の委員長ということでメンバーの皆さんと、もっと楽しみながらこの1年間を盛り上げていきたいと思います。皆さんのが楽しめ、興味をもてる「総会・例会」にしていき、どんどん皆さんのが自己をアピールできる場を提供したいと思います。

今年のテーマは、「自然体」です。



### 広報委員長 野島徹也

平成10年度和田会長が、広報委員会に望んでいることは、「新しいカラーで」と言うことです。そこで、自分が皆が知りたい、聞きたいと思うことをフットワークを駆使して、過激に伝えることにより「今まで…。そして、これから…。」を考えてもらえればと思います。とにかく難しい話は、ぬきにして最大の目標は、委員会一丸となることです。それなしでは、何事も始まりません。



### 会員交流委員長 池田佳央

青年協会に入会させて頂いてから、6年目に会員交流委員長をさせて頂く事になりました。今までの協会活動で得た経験を基にして自分なりにやっていくつもりです。抱負として、イメージ的に会員交流という委員会活動を軸とし、これをうまく回転させる事によって委員会やその周りの協会員や、その関係者を数多く巻き込んだ懇親事業を行えたら良いと考えます。

これは、なかなか困難そうにも自分自身にも思えますが、実行する事ができれば会員同士の親睦がよりいっそう深まり、またより多くの事を学び経験する事により自己の建設にも繋がると思います。会員交流委員会の事業には家族懇親会やソフトボール大会・忘年懇親会、その他に例会後の懇親会の設定等が有ります。各事業共、成功させる為に微力を尽くすつもりですが、協会の会員にはあまり負担を掛けずに楽しめる企画を考える事ができたら良いと思います。多くの参加者を得る為に多少の無理なフォローはするかもしれません…。(十分に負担かもしれない?)とにかく、この会員交流委員会の委員長を、一年後に終える時に委員会内で美味しいお酒が飲む事が出来る様にしたいと思っています。



### 研修開発委員長 松島健二

今年度は田川前委員長はじめ委員会のメンバー一丸となって新人の開発、研修に取り組みたいと思います。最初は誰もが新人です。期待と不安で一杯でしょう。右も左も分からなかった頃を思い出しながら、新人の立場に立ってフォローして行きたいと思います。素晴らしい人材は協会の宝です。会員の皆様のご理解とご協力を得て、微力ではございますが精一杯頑張りたいと思います。



### 地域事業委員長 円能寺 隆

自分自身の卒業年度と、協会30周年と重なっており、意識のある年度と認識しております。

その平成10年度を委員会のメンバーを中心に、くんち及び他の事業を自由な発想と行動力で悔いのない様な一年間にしたいと思います。



### 地域活性委員長 大石誠

今年の地域活性委員会では、みなとまつりとランタンフェスティバル(稲佐山的燈会)を担当しております。みなとまつりにおいては、昨年までのターザンコンテストに変わる新企画を現在考えているところです。委員会のメンバーの協力のもと、青年協会の事業を盛り上げていけるように頑張っていきたいと思いますので、皆様方の御協力をお願いしたいと思いますので、何卒よろしくお願ひします。



### 渉外委員長 前田哲也

渉外委員会は、ネットワークと青少年育成事業に取り組みます。ネットワークは、会員へ適確に、わかりやすく伝えることを心掛けます。青少年育成事業については今年もサマーキャンプを予定しております。現在、企画段階ですが、子供達は勿論、会員も楽しめるようなキャンプにできればと思っています。

その他、新たな試みも考えていますが、とにかく、楽しいなかにも何かきちんと成果が残せるような委員会にしたいと考えています。



### 企画委員長 湯藤正典

青年協会30周年を迎えて、協会の基本である「團結・相互扶助・自己の建設」をもう一度、個人個人が原点に帰り見直し協会活動を活気ある活動にして行き、35周年・40周年へ向け確実に進み次の世代へつなげて行きたい。



### 30周年担当副理事 伊藤克樹

本年度、社団法人長崎青年協会は、創立30周年社団法人になり、15周年を迎えます。

これまで築いてきた素晴らしい伝統を大切にしながら、みんなの新しいアイデアと行動力で、地域社会に根ざした青年協会らしい30周年記念事業を創り上げて行きたいと思います。

30周年間の軌跡は、先輩方と会員1人1人の歴史です。田川30周年担当理事と力を合わせて頑張って行きますので、どうぞ一年間宜しくお願ひ致します。

夢は大きく、S T E P U P !

# 卒業者を送る夕べ

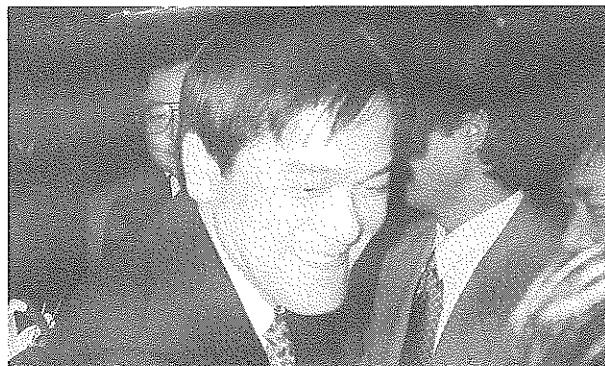
平成10年3月23日  
於 ホテルニュー長崎

去る3月23日(月)ホテルニュー長崎に於いて「卒業者を送る夕べ」が開催された。本年度卒業者は山口丈司君お一人だけで、出来事なら卒業をあと1年延長して頂きたいと思っていたが、本人が「意地でも卒業したい」という希望により、実現した。

山口君は昭和60年7月に入会され、今日まで12年と8ヶ月在籍され、平成2年国際交流委員長、平成8年企画室長、平成9年総務室長を歴任された。中でも「留学生のつどい」では、色々と想い出深いものがあって國も違う、肌の色も違う、宗教も違う、留学生にとって友達を作ることの難しさや交流すること大切などを等を話されていた。

又、おくんち事業の想い出では、色々な困難を乗り越える時に一緒に汗を流した友人の事は一生忘ることは出来ないものだ。とも挨拶された。

本当に永い間ご苦労様でした。奥様にもご挨拶を頂きありがとうございました。青年協会で学ばれた様々なことを今後の人生に役立てて頂ければと思う。



感動でいっぱいの山口君



挨拶される山口夫人



広瀬君による卒業者を送ることは



川原会長よりブレザー贈呈

当日お祝にご来席頂きました。O B の皆様誠にありがとうございました。この誌面をかりてお礼申し上げます。

S 52 浅田 五郎 O B	H 5 岡村 一憲 O B
S 59 金子原二郎 O B	H 6 桑田 啓伍 O B
S 60 中尾 英徳 O B	H 7 張 仁春 O B
S 62 松尾 豊明 O B	H 7 渡辺 秀孝 O B
S 62 城中 孝 O B	H 7 井上 章 O B
H 1 野上林八郎 O B	H 7 吉田 啓二 O B
H 1 福田 穂積 O B	H 8 板倉 和人 O B
H 2 桂 孝道 O B	H 8 新井 正実 O B
H 3 榎尾 敏郎 O B	H 8 新ヶ江憲和 O B
H 4 船越 正治 O B	H 8 白山 光男 O B
H 4 大平 和男 O B	H 8 田中 潤介 O B
H 5 森 保博 O B	

## 皆勤賞おめでとう

総務委員会	池田 佳央	君
総務委員会	酒井 真	君
例会委員会	渡部 一夫	君
広報委員会	鶴柴 英俊	君
研修開発委員会	広瀬 健司	君

# ----- オイにも言わせろ!! -----

この度、広報委員会では、「オイにも言わせろ！」と称してフリートークの欄を作ります。尽きましては、協会員の皆様・奥様・お子様・広報誌を読まれた方、誰でも結構です。あなたの一言を載せてみませんか。(匿名でかまいません!) 並びに川柳の投稿は無題でお願いします。投稿原稿は事務局まで。⑧823-7175

## 西暦2000年を考える!! 1回目

日蘭担当 石田 則 広

「西暦2000年」さんはどんなイメージをお持ちだろうか。

昨年11月、長崎市長の呼びかけで民間各界より精銳のしかもユニークなメンバー約30数余名が招集されたのが、『日蘭交流400周年記念事業検討委員会』やたら長い。

当協会では、当該2000年まで在籍している者(正確にはいちばんわっかさんが行けと私には聞こえたが。)という理由から私儀石田が担当する事になった。

頭初、その企画そのもの、コンセプト、方向性一切合切を民間の皆様に立ち上げて欲しいとする市側とそれを疑ってかかる(表現が不適切かもしれないが、私の感想である。)民間側との腹のさぐりあいが世を物語っているかのようで、興味深く感じ入った。で昨、3月その検討準備委員会も一応の報告書をもって終了し、4月より日蘭(中略)実行委員会へ移行する。

さて、みなさん、オランダという国をどれだけ、ご存知だろうか。チューリップ、風車、水路(ハウステンボス、オランダ村をイメージしてみた。)長野冬季OLPでは、御周知のごとく、スピードスケートでは、世界のトップで、スケーターは日本でいうSMA Pに相当するらしい。(本当かどうかはわからないが、芸能人ナミではあるらしい。)で、そのオランダとの交流が始まって400年目の節目が西暦2000年なのである。

次号へ

## 目指せ 満点 委員会

広報委員会の巻

自らの企画で先ずは、手本となりたい所だが、出席は、9名中6名、残りの3名は電話での参加となったが、委員会に1度も出席していない人はおらず、メンバーのヤル気がうかがえる。潜在能力は有るが今回は、

66点

もうすこしがんばりましょう。



撮影:野島君

## 詩上法人長崎川柳協会(題:はる)

今回は広報委員会の皆さんです。

春うらら 花粉の季節 業ならん

(毎年大変やな)

もうからん 仕事におわれ 春こない (同感)

ランタンの「春」を「春」で聖火かな?!

(もう燃えつきた)

顔洗い 鼻血の色に 春を見る (お前だけじゃ)

舞子さん かせぎを終えて 帰りはる

(きれい!)

かみさんの パックはる顔 ちと無気味

(無駄な抵抗やめましょう)

春のゆめ 夏の夜の夢 秋撃沈

(冬はどうした?)

よめさんに もんでといえず ピップはる

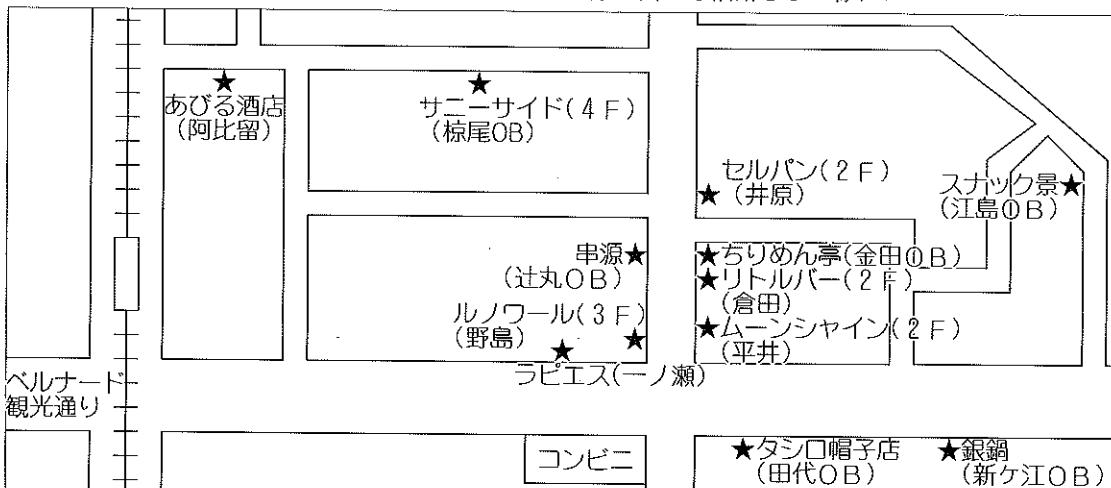
(悲しへい)

春一番 今日は嬉しい 信号待ち

(修学旅行観察会)

## NYAスクエア イラストマップ

銅座町には、NYAスクエア（別名：関所）と呼ばれる。協会関連のお店が集中した場所があります。特に入会してまだ間もない諸君!! このあたりを通る際は呉々も油断しない様に!



## 同好会案内

意外に知られてない同好会の活動実体を一挙にご紹介します。今後の参考にお役立て下さい。なお、取材漏れや新規結成はご一報下さい。

### ゴルフ

活動は年4回程度  
今後は30周年記念大会を予定しています。  
西口君まで

### アウトドア

以前はキャンプを実施  
まとめ役が不在のため  
現在は休止状態です。  
誰かいませんか?  
取材協力 猿渡君

### 独身

すべての独身者は会員  
3月中旬にコンパを実施  
しました。5月に鶴柴君  
が結婚するので卒業式を行います。野島君まで

### 将棋

殆ど活動はしていないが、  
これを機に活動したいと  
の事です。峰君まで

### 釣り

活動は年3~4回程度  
ポイント制で年間の優勝者を決定。一ノ瀬君まで

### 駅伝

マラソンなどの大会に出場する。走るのが好きな方待ってます。馬見塚君まで

### 野球

ソフトボール同好会の吉田正幸君には負けないぞ川原君まで

### パソコン

担当者の卒業のため休止状態だったが、インターネットを中心に活動を再開するそうです。詳細は後日発表 河野君まで

### 麻雀

活動は年に3~4回事務局で行います。  
大石君まで

### テニス

現在はまとめ役不在のため休止状態。  
誰かいませんか? 取材協力 櫻井君



### バスケット

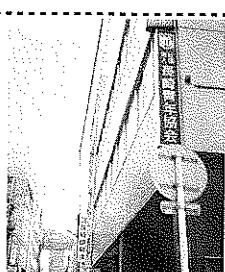
現在は休止状態だが、  
これを機に再開したい。  
田川(清)君まで



この度、事務局移転に伴い、ビルの2F部分に当たる所に(事務局は3F)看板が取り付けられた。これはOBよりお祝いとして頂いたものです。

「OBの皆様ありがとうございました。」

現会員一同



本年度、我々広報委員会では、「原点からの出発～フットワーク～」を基本的活動方針とし、協会内における様々な事業及び制度のルーツを探り、変遷を全会員に知ってもらい、これからの方針性を新たに考えてもらうコーナーを企画した。

とくに青年協会は、今年創立30周年を迎える。考えてみれば、会員の中には、創立後に生まれた者がいるのだ。数えてみると、20名もいた。この最後のページは、そんな若い会員・入会間もない会員のために、そして、創立当時または事業の歴史について「原点」を学ぶいい機会として、知ってそうで知らない意外な事実を明らかにすることを目的とする。と言うと、かたくらしくも思えるが興味本意的な部分を含め、みんなが聞きたい知りたいということを取材しまーす。

## 長崎青年協会の知ってるつもり

我々が入会した街長崎青年協会は、今からちょうど30年前（1968年）、郷土長崎の若人として地域経済文化の発展に寄与するという情熱を青春にかけようと同志7人で発足したことは会員皆周知のことではあるが、その7人の発起人の中に外国人の方が含まれていたことを知っている会員がはたしてどのくらいいるだろうか…？ その人の名はデニス・ウォーカー氏。ちなみに、長崎生まれの長崎育ちで海星高校卒である。（現在は、アメリカのカリフォルニア州在住で当時25歳。）また、そもそもの始まりは、夜な夜な集まっては長崎について熱く語り合う「飲み仲間」からの出発であった。

最初の事業（初年度）は、1969年の長崎国体において岩手県選手役員の会場・宿舎間の送迎を手助けした事である。この事は地元新聞岩手日報で見えざる国体運営者として賛美の記事で報じられた。また、感謝状とリンゴ2箱を受け会員皆で笑美したとの事である。これは、奉仕活動に参加することによって会員相互の絆を強めただけでなく青年協会の存在を外部に知らしめた第一歩であり今日の青年協会の礎となった歴史的事業となった。

創立当初の役員は会長・副会長・各部長という名称だった。現在の委員会組織となったのは、第6年度（1974年）からである。委員会を持たない役員として「無任所理事」、会費を徴収する「財務委員会」というものもあったそうだ。

「郷土長崎を知る」というスローガンのもとに、例会は長崎の味を知るということで食べ歩き研修を行った年（第7年度）もあった。

事務局も最初はその年の会長宅ということもあり、創立当時の記録が少ないのも事実だ。初めて事務局を持ったのは、第10年度（1978年）元船町において、その後、第15年度（1983年）には魚の町へ移転、そして去年から現在の五島町へと会員数の増大とともに大きな事務所へと移転してきた。

会長選挙では、信任投票（○×記入）が慣例だが、たった一度だけ立候補者2名による選挙が行われた年（第2年度）がある。同票で決戦投票になり、さらに1票差という激戦だった。

第12年度（1980年）には「みんなで築こう、きれいな長崎」というキャッチフレーズのもとに市内の自治会に700個のチリカご配布を行った。行政側から「公道には困る」と物言いがついたが理解を得られたもよう。

第16年度（1984年）は、任意の団体から「社団法人」へ移行した年である。これは、その年突然にかわったわけではない。10周年を迎えた頃から毎年の懸案事項として着々と準備を勧めてきた結果がついに実を結んだのである。つまり、色々な事業を展開する際に行政その他諸機関との関わりの中で社会的地位確立の第一歩となった。ちなみに、「社団法人」（公益社団法人）とは、「祭祀、宗教、慈善、学術、技芸その他の公益に関する事業を目的とし営利を目的としない人の集合体であり一つの団体としての目的、組織とそれ自体の意思をもちその団体自身が社会上單一体としての存在をもつもの」と定義されるそうだ。

今回は、誌面の都合で、ここでおわることにするが、次号以後もご期待ください。

P.S. O.Bの皆さんには、いろんな形で取材にお伺いすると思いますが、ご協力お願いします。